

5 まとめにかえて

少子化や高齢化、人口減少が進む中で、すべての人々が社会参加できる環境づくりを進め、これまで以上に魅力的な地域づくりに住民が主体的に参画することが求められている。特に、高校生をはじめとした若者の地域活動への参加、地域づくりへの参画が、今、期待されている。本調査研究では、県民や、行政・関係機関の職員だけでなく、高校生や高等学校・特別支援学校の教員にも、地域・社会への課題認識や活動・学習への意識について調査した。調査間の比較や過去の調査との比較等をとおして、検証、考察し、地域活動参加促進のための効果的な支援の在り方について提言を、本報告書、リーフレットにまとめた。

社会の変化が激しい現代において、これからの未来を担う若者や子どもたちにどのような環境を提供するかは、将来を委ねる大人が考え、積極的に関わっていく必要がある。そのために、世代間のつながりを創出し、自分の住む地域社会をよりよくするためにできることを考え、行動していける人づくりを推進することが求められる。そして、そのような人づくりの積み重ねにより、地域の教育力が向上し、地域コミュニティが活性化していくことで、持続可能な地域社会へとつながっていくのではないだろうか。その一助として、本報告書、リーフレットを、活用いただければ幸いである。

最後に、調査への御協力をいただいた各県立学校、市町教育委員会、その他関係諸機関等の皆様に対し、心から感謝を申し上げ、調査研究の報告とさせていただきます。